災害時の外国人の情況と多文化パワー

阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

主任研究員　楊　梓

2021年4月15日

本日の流れ

1.災害時における外国人の状況

- 令和2年7月豪雨の調査速報
- 2016年熊本地震調査の概要
- 多様性がある外国人

2.多文化パワー

- 担い手となる外国人
- 多文化共生2.0時代

1.災害時における外国人の状況

八代市役所鏡支所前
（7月撮影）

- 県の災害対策本部資料中に外国人対応の項目が入った。
- 県は外国人サポートセンターも立ち上がった。

（八代市避難所　2020年7月撮影）

熊本県外国人サポートセンターチラシ

個人情報保護のため、配布しません

フィリピンの方の自宅　（写真：八木さんより）

しかし、外国人の情報があまりなかった。

- 避難所に行って、名簿上に国籍を記入する欄がなく、名前だけで外国人を判断したため、**「いなかった」**
- コロナの影響で、直接に被災者と話ができず、多くのところを回れなかった。

⇒所在とニーズの把握が困難

コロナ禍で災害支援はどう変わったか？

- 外部からの人的支援が入りにくくなり、専門性を持った人材やボランティアが不足する。その結果、被災地の負担が増加し、復旧・復興に時間がかかる。
- 避難所運営においては、避難所の厳格な区画整理や定員設定により、避難所定員が減少することで、中には、避難者が避難所に入れず、他の避難所への移動する事態が発生した。
- 分散型避難によって、避難者の存在を把握しづらくなり、その結果、ニーズ把握も難しくなり、支援が必要な人にすぐ支援を届けられない可能性も高くなった。

1.災害時における外国人の状況

■調査目的

外国人住民の避難実態や外国人住民への支援状況、コロナ禍の災害対応の課題を把握・整理することを目的にしている。そして、新型コロナウイルス感染症蔓延時の外国人対応を踏まえ、外国人が必要な配慮と自治体が提供できる配慮についての分析を行い、巨大災害時における外国人対応のあり方を提示したい。

■調査対象とスケジュール

令和2年7月豪雨の被災を受けた熊本県在住の外国人住民と、外国人住民を支援した団体・組織

時間	対象者	
3月17日	神戸→熊本→八代市役所	八代市職員さん
3月18日	熊本市内	Kumamoto Internationalのマスデンさん、 KEEPのミッチエルさん、 外国人妻の会の代表さん、 コムスタカー外国人と共に生きる会の代表さん、 KVOAD火の国会議の皆さん
3月19日	熊本市内	熊本県(多文化共生関係)職員さん ネパールコミュニティのハリさん、 中国コミュニティの楊軍さん
3月20日	熊本市→人吉市→帰神	人吉・球磨フィリピン人コミュニティの皆さん

1.災害時における外国人の状況

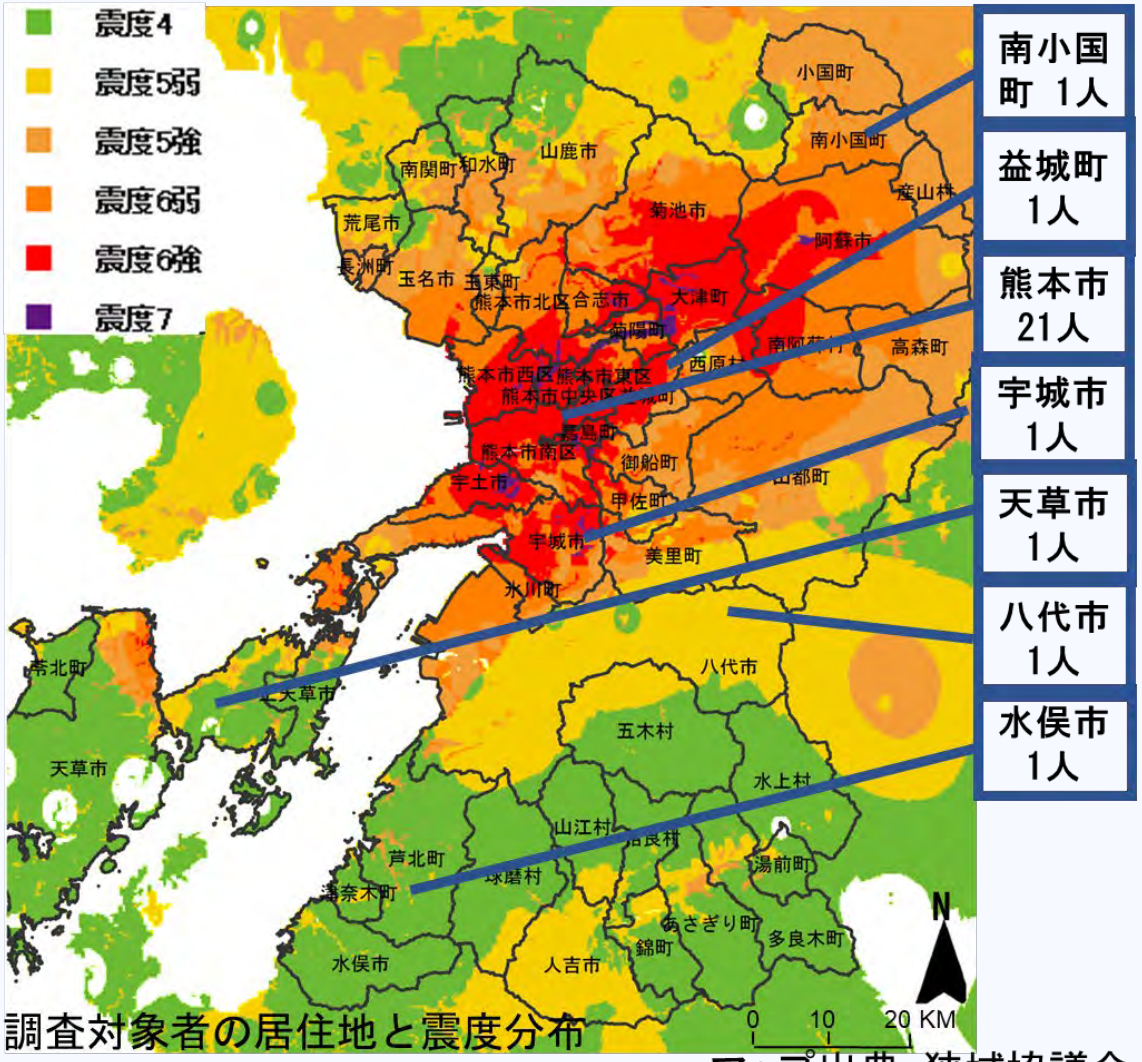
スライドP7～スライドP13の内容は
取り扱い注意のため、
配布しません。

調査から感じたこと：

- 日本語教室や、国際交流協会のような場所がない地域においては、外国人のニーズを把握しにくい状況がある。
  ⇒すぐ避難所に行かないから。また、日本人と一緒に暮らしているから。
- しかし、**コミュニティの力が大きい。**
  - コミュニティのキーパーソンや、よく集まる場所（エスニック店や教会など）を把握すれば、つながっていくことが可能となる場合もある。
  - 身近な信頼している人からの情報は、見知らぬ他人（行政など）からの情報に比べて、実際の行動に結びつきやすいことが示されている。

1.災害時における外国人の状況

- 目的： 外国人被災者の実態を把握し、円滑に対応を提供するため。
- 内容：2016年4月14日～自宅に戻るまでの避難行動
- 期間：2016年8月17日～8月21日
- 対象：熊本県在住の外国人34名を対象（29名が熊本地震経験者）



調査対象者の居住地と震度分布

マップ出典：狭域協議会

Zi Yang, Keiko Inagaki, Hiromitsu Yagi, Satoshi Yoshida, and Satoru Sadohara: Emergency Evacuation and Shelter-Seeking Behavior of Foreign Residents in Kumamoto Earthquake, Journal of Disaster Research Vol.12 No.sp, 2017, pp.678-687

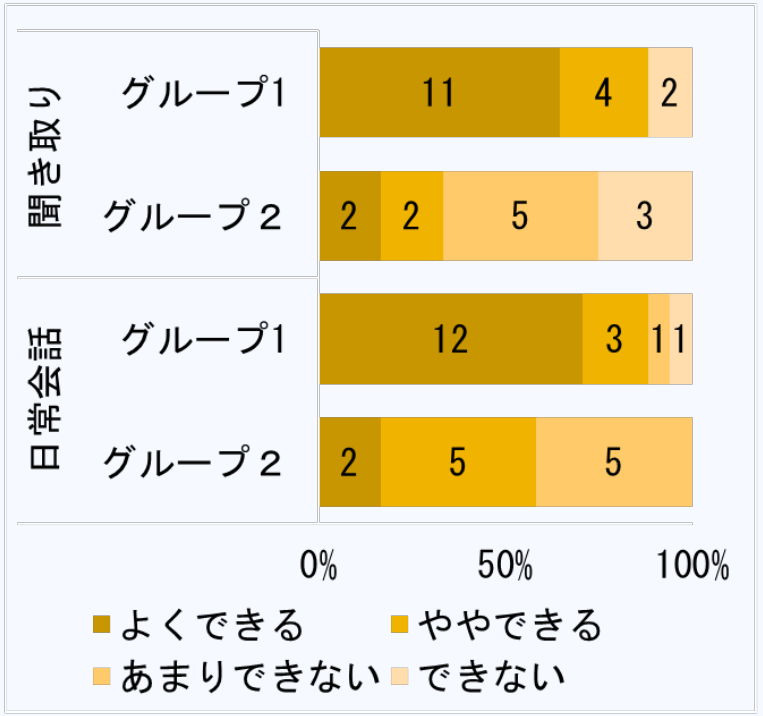
1.災害時における外国人の状況

対象者の在留資格を基準に2グループに分けて考察
グループ1は災害時に日本語情報を理解できる。
グループ2は日常会話、聞き取りができない人が多い。

グループ毎の回答者概要

	人数	在留資格	概要
グループ1	17	永住者、日本人配偶者等	・アジア、中東、欧州、北米 ・持ち家と借家の割合が約半々で、公営住宅もいる。 ・持家と借家が半々。約９割が家族と同居。
グループ2	12	就労、留学等	・アジア、中東、アフリカ、欧州 ・全員が借家。約６割が一人暮らし

グループ毎の日本語能力

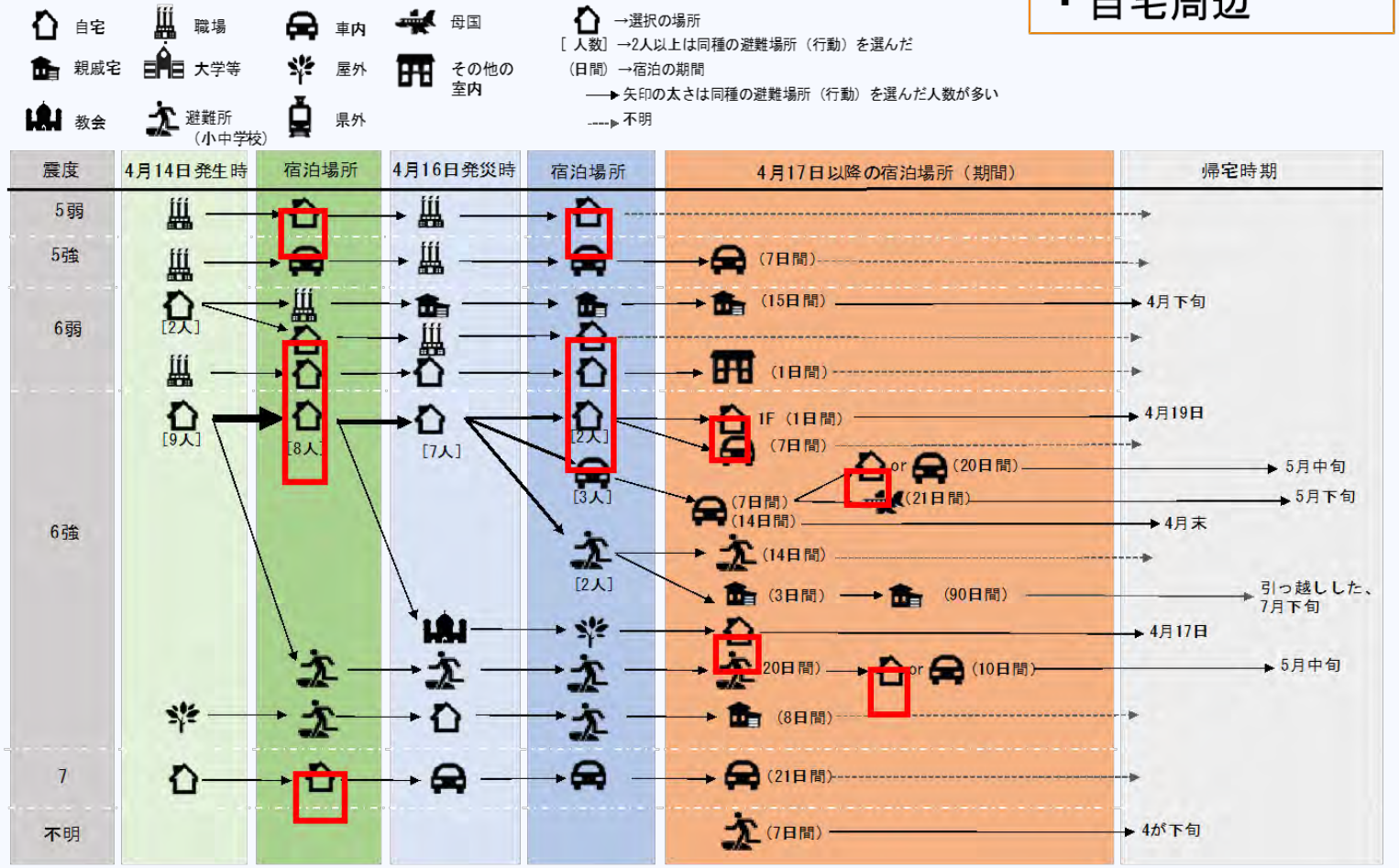


Zi Yang, Keiko Inagaki, Hiromitsu Yagi, Satoshi Yoshida, and Satoru Sadohara: Emergency Evacuation and Shelter-Seeking Behavior of Foreign Residents in Kumamoto Earthquake, Journal of Disaster Research Vol.12 No.sp, 2017, pp.678-687

1.災害時における外国人の状況

避難行動（グループ1）

特徴：
- 熊本県内で避難
- 自宅周辺



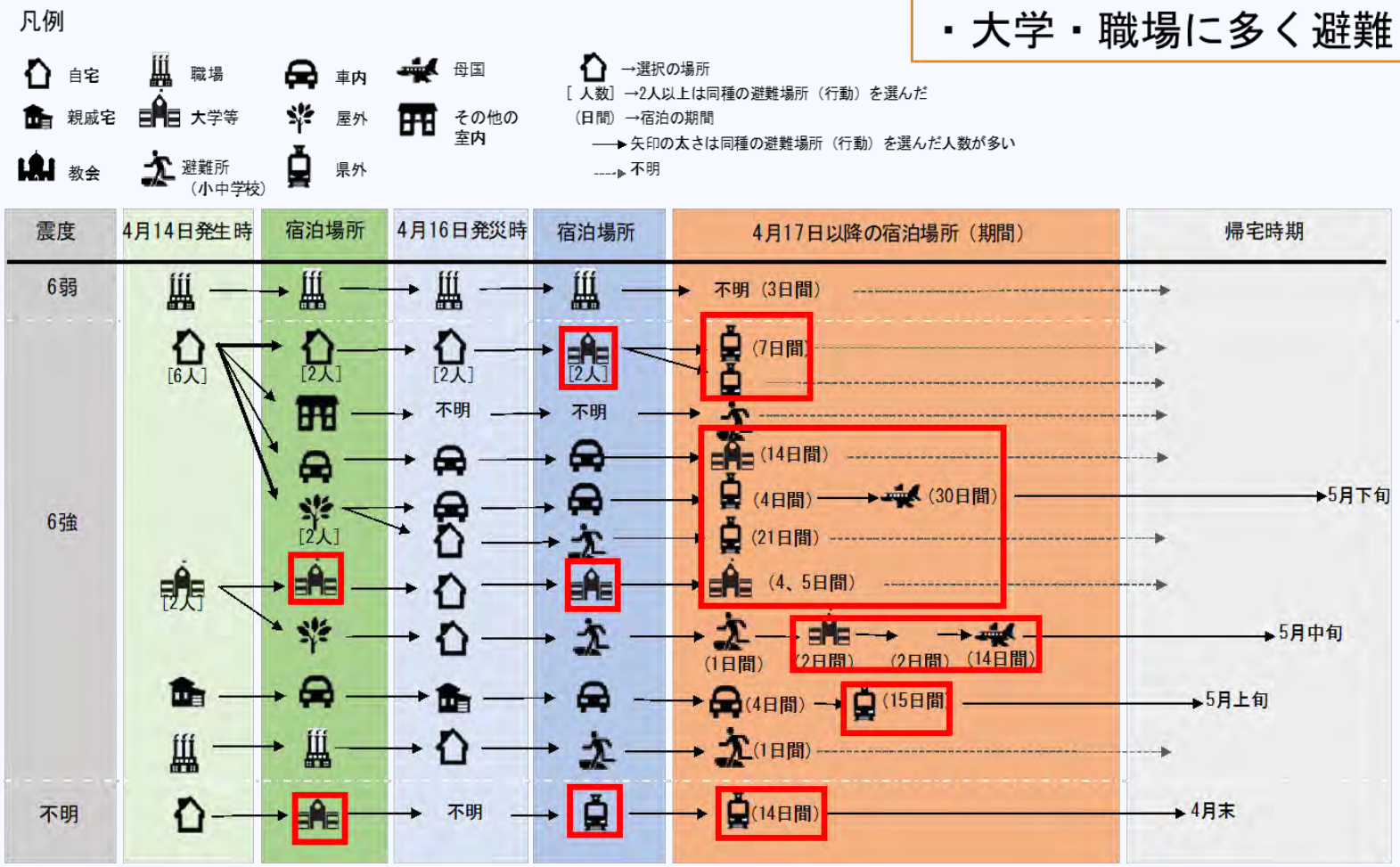
グループ1の避難行動

Zi Yang, Keiko Inagaki, Hiromitsu Yagi, Satoshi Yoshida, and Satoru Sadohara: Emergency Evacuation and Shelter-Seeking Behavior of Foreign Residents in Kumamoto Earthquake, Journal of Disaster Research Vol.12 No.sp, 2017, pp.678-687

1.災害時における外国人の状況

避難行動（グループ2）

特徴：
・県外・国外に多く脱出
・大学・職場に多く避難



グループ2の避難行動

Zi Yang, Keiko Inagaki, Hiromitsu Yagi, Satoshi Yoshida, and Satoru Sadohara: Emergency Evacuation and Shelter-Seeking Behavior of Foreign Residents in Kumamoto Earthquake, Journal of Disaster Research Vol.12 No.sp, 2017, pp.678-687

1.災害時における外国人の状況

外国人の避難場所・支援拠点の可能性

凡例：△可能性がやや有；○可能性有

		利用者	避難場所	支援拠点	役割
所属機関	大学等	学生とその家族	○	○	共助
	職場	就労者とその家族	○	○	共助
外国人がよく利用する施設	教会	教徒	○	○	自助 共助
	エスニックレストラン	国籍限定の可能性有	△	○	自助 共助
外国人支援団体の施設	公的団体	無制限	○	○	公助
	専門機構	対象者制限の可能性有	○	○	公助 共助
	民間団体	普段の利用者	△	○	共助
大使館等		国籍限定	△	○	外国支援
指定避難所	外国人集住地域に立地	留学生や就労者等	○	○	共助
	一般の避難所	永住者、日本人配偶者等	○	△	共助

・被災地外に退避する外国人がいる一方で、日本人と同様に被災地内で避難生活を送る外国人がいる。
・外国人は必ずしも地域の避難所に行くとは限らず、通勤通学先、普段よく利用する施設（国際交流会館、教会など）は集まりやすい場所と分かった。

⇒外国人が多様な避難行動を取る可能性が分かった。

Zi Yang, Keiko Inagaki, Hiromitsu Yagi, Satoshi Yoshida, and Satoru Sadohara: Emergency Evacuation and Shelter-Seeking Behavior of Foreign Residents in Kumamoto Earthquake, Journal of Disaster Research Vol.12 No.sp, 2017, pp.678-687

2.多文化パワー

多様性がある外国人に対して、どう支援すればいいのか？

①「外国人」を正しく理解する：多様性、普段から抱える脆弱性…。

■ 「要配慮者」としての外国人
言葉の壁や文化や習慣、宗教上の配慮など、避難生活での情報やサービスの提供で配慮が必要

■ 「避難行動要支援者」としての外国人
日本語がわからないため、「危険情報」が届かない、災害や避難に関する知識に濃淡があり、地理にも不案内なので、適切な避難行動がとれない　（ダイバーシティ研究所田村太郎先生のスライドより）

参考文献：
田村 太郎：2021年総務省災害時外国人支援情報コーディネーター研修資料：災害時における外国人対応について，総務省HP
楊 梓：2021年総務省災害時外国人支援情報コーディネーター研修資料：感染症蔓延期における災害時の外国人対応，総務省HP
片岡 博美：地域防災の中の「外国人」：エスニシティ研究から「地域コミュニティ」を問い直すための一考察，地理空間学会，地理空間 9(3), PP. 285-299, 2016

②多様なステークホルダーと連携し、**合理的配慮**を提供する。

合理的配慮：「障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう」（障害者の権利に関する条約）。つまり、**障がい者が困ることをなくしていくために、周りの人や会社などが無理のない範囲で、社会的障壁を取り除く。**

参考文献
立木茂雄：「誰一人取り残さない防災に向けて、福祉関係者が身につけるべきこと」萌書房（2021）

③当事者力（防災リテラシー）を高め、地域活動の担い手として活躍できるようにする。

2.多文化パワー

- A国留学生会：領事館と連絡し、4月17日から22日までに、約130名の外国人を福岡まで移送。また、避難所でボランティア活動を行い、物資を地域住民に転送。
  👍普段の繋がり（警察や、国際交流振興事業団、他地域の留学生会、大使館の先生等）が有用。

- B教会：外国人への支援拠点として機能した。教徒への外国語での情報提供や物資、特に宗教習慣にあう食事を提供。教会のネットワークやSNS、ホームページを介して、全国から支援が届き、外国人のみならず地域住民や友好団体にも物資を転送。

転送物資　photo by 楊梓　@2016

2016年外国人コミュニティ団体のヒアリングに基づく

2.多文化パワー

個人情報保護のため、配布しません

岡山県総社市は、2013年度（平成25年度）から外国籍住民防災リーダーの養成を行い、2018年7月豪雨災害において、外国人防災リーダーは救出活動などに活躍していた。

担い手となる外国人

総社市役所　譚俊偉さんのスライドによる

2.多文化パワー

研修の様子　箕面市HPより

箕面市では、外国人市民が防災研修を受講し、自身の防災知識を高めるとともに、他の外国人市民に向けて、防災意識の啓発や災害時に正確な情報を得て多言語で情報発信を担う「外国人防災アドバイザー」を養成し認定した。

詳細：府内初　箕面市で外国人防災アドバイザーが誕生しました！～外国人市民の防災力の向上をめざします～
https://www.city.minoh.lg.jp/bunka/houdou_gaikokujinbousaiadvisor.html

尼崎市消防団では、特定技能生であるベトナム人女性が消防団員に入団した。地域の防災訓練の参加を通して、身近な外国人へ災害に対する意識啓発を行っている。

自治会の防災訓練に参加した外国人コミュニティと外国籍消防団員（楊撮影　2021年2月14日）⇒

個人情報保護のため、配布しません

2.多文化パワー

総務省多文化推進プラン

多文化共生2.0時代

阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

2.多文化パワー

「従来の外国人支援の視点を超え、地域社会の構成員として社会参画を促し、外国人がもたらす多様性を活かす仕組み、そして国籍や民族等にかかわらず、誰もが活躍できる社会づくりが今後求められる」

参考文献：
山脇啓造：多文化共生2.0時代へ―総務省の取り組みを中心に―，ウェブマガジン『留学交流』2017年7月号Vol.76

①「外国人」を正しく理解する：多様性、普段から抱える脆弱性…。

⇒相互理解の機会を増加。e.g.:多国籍料理教室、国際交流フェアなど

②多様なステークホルダーと連携し、合理的配慮を提供する。

⇒生活者としてのサポートが必要。

e.g.:多言語相談、多言語情報発信、日本語教育、居場所づくりなど

③当事者力を高め、地域活動の担い手として活躍できるようにする。

⇒(防災において)防災リテラシーを高めるのが重要。その上で、地域における支え合いとしての共助、行政としての公助へつながっていく。

＊地域活動の担い手は何でもする役割ではなく、自分ができることをした上で、
日本社会とつながっていく役割だと考えられる。

平時からの多文化共生の取り組みが必要

Q&A

- 避難所での遠隔通訳の事例

2020年9月5日　京都市国際交流協会(KOKOKA)の防災研修

避難所のルール 電話通訳で確認

左京 外国人対象に防災訓練

京都市在住の外国人を対象にした防災訓練が5日、左京区の市国際交流会館で開かれ、災害時の体験を通して、災害時の対応を学んだ。

5カ国から来日した7人が電話通訳サービスや避難所の利用体験を通して、災害時の対応を学んだ。

言葉の壁で災害弱者になりがちな外国人に防災意識を高めてもらおうと、市国際交流協会が毎年開いている。

電話通訳サービスは市が7月から始め、災害時に限り英語や中国語など19カ国語に対応している。訓練では参加者が「避難所のルールを知りたい」などと英語で質問し、通訳の精度を確認した。

避難所の入退届の書き方やハザードマップの見方を学ぶコーナーも設けられ、参加者は入退届を記入する意味を学んだり、自分が住む地域がどの学区に当たるかを確かめたりしていた。

ジャマイカ出身の京都大大学院生ジャネル・ヘイゼルさん(35)＝左京区＝は「避難所に行ってもどうすればいいか不安だったがこれからは安心して利用できる」と話していた。

(田代真也)

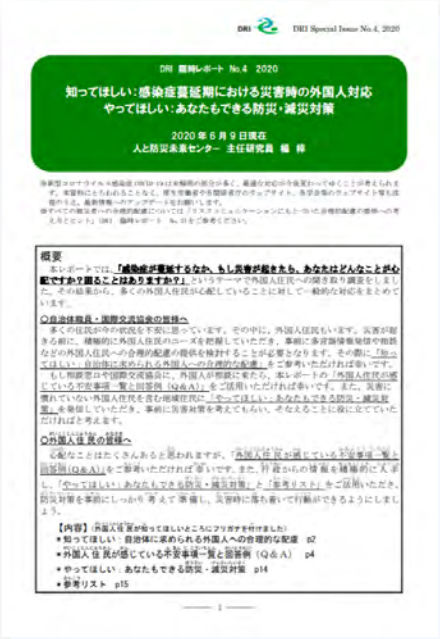
防災訓練で市の電話通訳サービスを体験する外国人の参加者(京都市左京区・市国際交流会館)

京都新聞　2020年9月6日　　(京都市国際交流協会より提供)

具体的に、講義の後に、我が家の災害リスクと避難場所の確認、避難所の受け付けカードの記入、避難所での電話通訳、コロナ禍の避難所に必要なものなどの体験をした。

特に**電話通訳のサービスは今年7月導入した。年配の町内会会長は電話通訳を使い、日本語がほぼできない留学生に避難所のルールを説明する**のがとても印象に残った。

PR


DRI Special Issue No.4, 2020

DRI 臨時レポート No.4 2020

知ってほしい：感染症蔓延期における災害時の外国人対応
やってほしい：あなたもできる防災・減災対策

2020年6月9日現在
人と防災未来センター 主任研究員 楊 梓

概要

本レポートでは、「感染症が蔓延するなか、もし災害が起きたら、あなたはどんなことが心配ですか？聞くことはありますか？」というテーマで外国人住民への聞き取り調査をしました。その結果から、多くの外国人住民が心配していることに対して一般的な対応をまとめています。

○自治体職員・国際交流協会の皆様へ

多くの住民が今の状況を不安に思っています。その中に、外国人住民もいます。災害が起きる前に、情報面に外国人住民のニーズを把握していただき、事前に多言語情報発信や物資などの外国人住民への合理的配慮の提供を検討することが必要となります。その際に、「知ってほしい：自治体に求められる外国人への合理的配慮」をご参考いただければ幸いです。

もし相談窓口や国際交流協会に、外国人が相談に来たり、本レポートの「外国人住民が感じている不安事項一覧と回答例（Q&A）」をご活用いただければ幸いです。また、災害に慣れていない外国人住民を含む地域住民に、「やってほしい：あなたもできる防災・減災対策」を発信していただき、事前に災害対策を考えてもらい、そなえることに役に立てていただければと考えます。

○外国人住民の皆様へ

心配なことはたくさんあると思われますが、「外国人住民が感じている不安事項一覧と回答例（Q&A）」をご参考いただければ幸いです。また、行政からの情報を積極的に入手し、「やってほしい：あなたもできる防災・減災対策」と「参考リスト」をご活用いただき、防災対策を事前にしっかり考えて準備し、災害時に落ち着いて行動ができるようにしましょう。

【内容】（外国人住民が知ってほしいことにフリガナを付けました）
- 知ってほしい：自治体に求められる外国人への合理的配慮 p2
- 外国人住民が感じている不安事項一覧と回答例（Q&A） p4
- やってほしい：あなたもできる防災・減災対策 p14
- 参考リスト p15

←

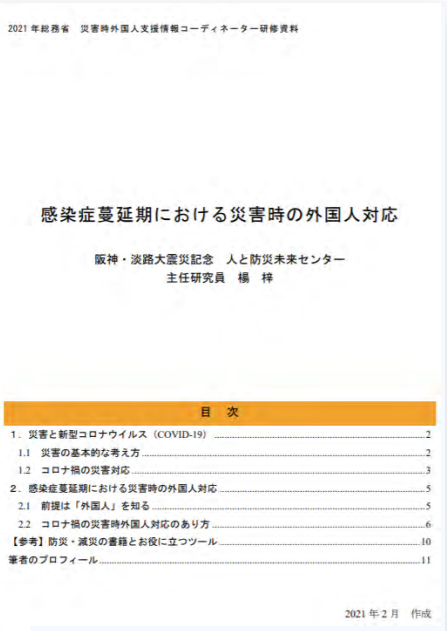
「知ってほしい：感染症蔓延期における災害時の外国人対応　やってほしい：あなたもできる防災・減災対策」　（日本語、英語、中国語）

https://www.dri.ne.jp/research/reports/special/188/

→

2021年総務省災害時外国人支援情報コーディネーター研修資料：感染症蔓延期における災害時の外国人対応，

https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/chiho/132137.html


2021年総務省　災害時外国人支援情報コーディネーター研修資料

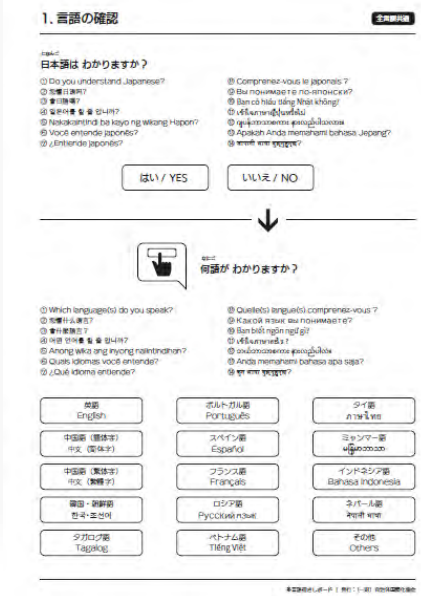
感染症蔓延期における災害時の外国人対応

阪神・淡路大震災記念　人と防災未来センター
主任研究員　楊　梓

目　次

1．災害と新型コロナウイルス（COVID-19） 2
1.1 災害の基本的な考え方 2
1.2 コロナ禍の災害対応 3
2．感染症蔓延期における災害時の外国人対応 5
2.1 前提は「外国人」を知る 5
2.2 コロナ禍の災害時外国人対応のあり方 6
【参考】防災・減災の書籍とお役に立つツール 10
筆者のプロフィール 11

2021年2月　作成


1. 言語の確認

全体共通

日本語は わかりますか？

① Do you understand Japanese?
② 你懂日语吗？
③ 일본어를 할 줄 압니까?
④ Nakakaintindi ba kayo ng wikang Hapon?
⑤ Vocês entende japonês?
⑥ ¿Entiende japonés?
⑦ Comprenez-vous le japonais ?
⑧ Bạn có hiểu tiếng Nhật không?
⑨ เข้าใจภาษาญี่ปุ่นหรือไม่
⑩ Apakah Anda memahami bahasa Jepang?
⑪ क्या आप जापानी समझते हैं?

はい / YES　いいえ / NO

何語が わかりますか？

① Which language(s) do you speak?
② 你懂什么语言？
③ 할 수 있는 언어는 무엇입니까?
④ Anong wika ang inyong naiintindihan?
⑤ Quais idiomas você entende?
⑥ ¿Qué idioma entiende?
⑦ Quelle(s) langue(s) comprenez-vous ?
⑧ Какой язык вы понимаете?
⑨ Bahasa mga ang naiintindihan mo?
⑩ คุณเข้าใจภาษาอะไรบ้าง?
⑪ Anda memahami bahasa apa saja?
⑫ आप कौन सी भाषा समझते हैं?

英語 English
ポルトガル語 Português
タイ語 ภาษาไทย
中国語（簡体字） 中文（简体字）
スペイン語 Español
ミャンマー語 မြန်မာဘာသာစကား
中国語（繁体字） 中文（繁體字）
フランス語 Français
インドネシア語 Bahasa Indonesia
韓国・朝鮮語 한국·조선어
ロシア語 Русский язык
ネパール語 नेपाली भाषा
タガログ語 Tagalog
ベトナム語 Tiếng Việt
その他 Others

2. 避難所スタッフ用｜表面

英語、中国語（簡体／繁体）、韓国語、タガログ語

❶ 翻訳アプリを 使っていますか？
① Do you use a translation app?
② 你是否使用翻译软件（或APP）？
③ 번역 앱을 사용하고 있습니까?
④ Gumagamit ba kayo ng translation app?

はい / YES　いいえ / NO

翻訳アプリ（参考）
① (Reference) Translation apps
② （参考）翻译软件
③ （참고）번역 앱
④ (Sanggunian) Translation App

<Voice Tra>　<Google 翻訳>

❷ 私は 避難所の スタッフ です
① I am staff of the evacuation shelter.
② 我是避难所的工作人员
③ 저는 대피소 직원입니다
④ Ako ay kawani ng shelter.

❸ 何か 困っていることは ありますか？
① Do you have anything that troubles you?
② 有什么问题需要告诉吗？
③ 도와드릴 일 있습니까?
④ May problema ba kayo?

❹ 欲しい ものは ありますか？
① Is there anything you want?
② 有需要什么吗？
③ 필요하신 거 있습니까?
④ May kailangan ba kayo?

❺ 避難者登録カードに 記入 してください
① Please complete an Evacuee Registration Card.
② 请填写避难者登记卡
③ 피난자 등록 카드를 작성해주십시오
④ Paki-kumpleto lamang ang refugee registration card.

❻ 手伝うことが できますか？
① Can you help us?
② 你能帮助我们吗？
③ 도와드릴 수 있습니까?
④ Maaari ba kayong tumulong?

❼ 困ったことが あれば 受付に 来てください
① When you need help, please come to the reception.
② 如果遇到困难请到接待处
③ 도움이 필요하면 접수 창구로 오십시오
④ Magtungo lamang po sa aming tanggapan kung may problema.

3. 被災外国人用｜表面

英語、中国語（簡体／繁体）、韓国語、タガログ語

❶ 食べられない ものが あります
① I cannot eat certain food.
② 有不能吃东西
③ 못 먹는 음식이 있습니다
④ May mga pagkain akong hindi makakain

❷ 長い間 持っている 病気が あります
① I have a chronic illness.
② 我患有慢性疾病
③ 장기간 앓고 있는 지병이 있습니다
④ May sakit akong matagal nang dinaramdam.

❸ 妊娠 しています
① I am pregnant.
② 怀孕中
③ 임신 중입니다
④ Nagdadalang-tao ako.

❹ 障害が あります
① I have a disability.
② 我有残疾
③ 장애를 가지고 있습니다
④ May kapansanan ako.

❺ 体の 調子が 悪いです
① I am not well.
② 身体不适
③ 몸이 안좋
④ Hindi maganda ang pakiramdam ko.

❻ お祈りを したいです
① I would like to pray.
② 我想祷告
③ 기도를 하고 싶습니다
④ Gusto ko sanang manalangin.

❼ 授乳を したいです
① I would like to breastfeed/ bottle feed my baby.
② 我想亲/喂母乳
③ 젖을 먹/분유 먹고 싶습니다
④ Gusto ko sanang magpasuso.

❽ 短い間 個室を 使いたいです
① I would like to use a private room for a short time.
② 我想一下使用个人房间
③ 잠깐 개인실을 이용하고 싶습니다
④ Gusto kong sa isang panahon ay gumamit ng pribadong silid sa loob kaming ng maikling panahon.

❾ ペットを 連れてきたいです
① I would like to bring my pet(s).
② 我想带宠物一起来
③ 애완동물을 데려오고 싶습니다
④ Gusto ko sanang dalhin ang aking pet.

❿ Wi-Fi を 使いたいです
① I would like to use wifi.
② 我想用WIFI
③ 와이파이 이용하고 싶습니다
④ Gusto ko sanang gumamit ng Wi-Fi.

⓫ 携帯電話を 充電したいです
① I would like to charge my mobile phone.
② 我想充手机电
③ 휴대폰을 충전하고 싶습니다
④ Gusto ko sanang i-charge ang aking mobile phone.

⓬ 家族に 連絡したいです
① I would like to contact my family.
② 我想联系家人
③ 가족에게 연락하고 싶습니다
④ Gusto ko sanang kontakin ang aking pamilya.

・対応言語は14言語で、各地域の居住実態にあわせてセットを変更される場合は、Wordデータの編集も可能。

・避難所等で被災外国人の氏名、体調、食事制限など支援に必要な情報を確認する際に使用する「多言語避難者登録カード」や「食材の絵文字 / FOODPICT」と併せてご使用ください。

多言語指さしボード　http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/yubisashi.html